

SDG s 教育

県内取組事例から今後に向けて

2019年12月26日 SDG s 万国津梁会議資料
沖縄キリスト教学院大学/ (NPO法人) 沖縄NGOセンター
玉城直美

SDGs2030



沖縄県内 SDGs 教育 何故、教育か なぜ？

- ・ 2019年、世界、国内の動や、沖縄県玉城知事のSDGs宣言により、**県内企業等のSDGsの取り組みが活発化**。持続可能な社会形成に向けて、経済界もSDGsに舵を切り出した。**沖縄県のSDGs元年**である。
- ・ しかし、**教育はお金が掛かり、すぐに結果が出ない**。さらに経済活動に結び付きにくい**が、将来への投資**としては非常に重要。
- ・ すでに、**「取り残されてしまっている若い世代」**が存在する。
- ・ **POST SDGs世代**への積極的なアプローチは重要であり2030年以降に社会を担う世代を軸にした体制づくり。



沖縄県内 SDG s 教育

取組事例 (幼稚園)



大事な海を守ろう！

海洋ゴミをアートに、家庭も学校もみんなで参加



写真提供：沖縄アミークスインターナショナル幼稚園



沖縄県内 SDG s 教育 取組事例 (小学校)



モノレールに、もうのれーる！

モノレール開通と共に、持続可能な運営にするための課題解決学習



写真提供：浦添市立 前田小学校 (特別支援学級)



沖縄県内 SDG s 教育 取組事例 (小学校)

日々の授業、各教科とSDG s を連結させる 特別なことではなく、日常からの取組み



写真提供：南風原町立 南風原小学校5年教諭



沖縄県内 SDG s 教育 取組事例 (大学)



沖縄21世紀ビジョン SDG s 大学生が地域資源を探求し、映像化する

恩納村

— 地元の自然を守り隊 —

SDGs未来都市
に認定されているんです！！



取り組み1

サンゴの村宣言
Onna Village in Okinawa

キャラクター
名前: Sunna ちゃん

恩納村は2018年7月21日に
～世界一サンゴに優しい村～
を目標にサンゴの村宣言
しました！！

14 海の豊かさを
守ろう

A cartoon character of a pink coral with a smiling face, wearing a small green hat. The character is surrounded by blue bubbles and a larger illustration of pink coral.

SDGs2030

沖縄県内 SDG s 教育 取組事例 (JICA)



県内教育機関とNPO,企業へのSDG s 情報集積地 県内各組織の取組み紹介、見学受け入れ、教材の提供



写真提供：独立行政法人JICA沖縄

沖縄県内 SDG s 教育 取組事例 (修学旅行)



修学旅行SDGsアクティブラーニングの流れ

ゴール設定

事前学習

体験学習

事後学習

*事前・事後学習の交通費支援など修学旅行支援事業は、沖縄観光コンベンションビューロー (OCVB) ☎ 098-859-6125 にお問い合わせ下さい。

| | | | |
|--|---|---|---|
| <p>下地島カヤッファビーチ</p> <p>沖縄県トップクラスのサンゴビーチ</p> <p>SDGs 13 「気候変動に具体的な対策を」 高気圧によるサンゴ白化や酸性化を等閑学習等で学び、その対策を探索するアクティブラーニングです。</p> <p>SDGs 14 「海の豊かさを守ろう」 環境大臣賞を受賞したノーチャサンゴマナーをスノーケリング等で実践探索するアクティブラーニングです。</p> <p>SDGs 15 「陸の豊かさも守ろう」 赤土流出など海と陸のつながり、その防壁域としての干潟保全を探索するアクティブラーニングです。</p> <p>SDGs 3 「全ての人に健康と福祉を」 サンゴ礁の回復力 (レジリエンス) を学びつつ、一人一人の生き力を鍛錬させるアクティブラーニングです。</p> | <p>伊良部島漁家産家民泊</p> <p>大人気の漁家産家民泊</p> <p>SDGs 2 「飢餓をゼロにする」 地産地消の農産や漁業で伝統生活を体験し、持続可能な農業や漁業を探索するアクティブラーニングです。</p> <p>SDGs 3 「全ての人に健康と福祉を」 沖縄の昔ながらの長寿生活を現地体験しつつ、地球に優しい食生活を探索するアクティブラーニングです。</p> <p>SDGs 11 「住み続けられるまちづくりを」 津波から生活を守るため高台に位置する伝統的建造物群保存地区を探索するアクティブラーニングです。</p> <p>SDGs 17 「パートナーシップ チームワークが物を言う島伝統のハーリー競争や漁師体験など、仲間意識を育むアクティブラーニングです。</p> | <p>伊良部サンゴ回復研究センター</p> <p>ドローンや人工知能でサンゴ回復を支援</p> <p>SDGs 14 「海の豊かさを守ろう」 自動化性の高いスーパーサンゴを繁殖しつつ、高水温化する海での回復力を探索するアクティブラーニングです。</p> <p>SDGs 9 「産業と経済活動の革新を促そう」 サンゴ回復力研究を中ドローンや人工知能、海中センシング (IoT) 等で探索するアクティブラーニングです。</p> <p style="text-align: center;">AI IoT</p> <p>SDGs 6 「安全な水とトイレを世界中に」 100%地下水の宮古島で水の大切さを学びつつ、地下水の持続可能性を探索するアクティブラーニングです。</p> | <p>伊良部島トクビーチ</p> <p>エンズン不要のネイチャースポーツ</p> <p>SDGs 13 「気候変動に具体的な対策を」 自然環境に優しい、動力を要わないネイチャースポーツの醍醐味を味わうアクティブラーニングです。</p> <p>SDGs 14 「海の豊かさを守ろう」 パワーサートビーチを現場に活用しつつ、マイプラゴミ一掃を目指すアクティブラーニングです。</p> <p>SDGs 10 「人や国の不平等をなくそう」 ハンセン病差別という辛い人権侵害の歴史を学びつつ、人権の尊厳を探索するアクティブラーニングです。</p> <p>SDGs 16 「平和と公正を全てのの人に」 悲惨な沖縄戦の歴史を見直し、国際法が希求する戦争のない世界を探索するアクティブラーニングです。</p> |
|--|---|---|---|

修学旅行
SDG s ・ アクティブラーニング
事前～体験～事後まで
SDG s の視点で進めている
宮古島の海を持続可能な環境に



台湾

SDGs 教育

取組事例（修学旅行）

- SDGs + ESG、台湾のSDGs 取り組みとしてプログラム提供を行った。
- 海外の先進事例を人事交流、SDGs の
- 視点で互いの社会を学びあう。

沖縄県系人ネットワーク活用。





沖縄県内 SDGs 教育 どうやる？① 大事なものはパートナーシップ

- ・ 修学旅行における観光業、SDGs、アクティブ・ラーニングを取り入れた学びの支援体制。SDGs 地域 観光 教育
- ・ 沖縄県の教育現場が、SDGsを今後も推進していく際に、沖縄21世紀ビジョンとSDGsの連携をした学びのプログラム開発と各地域の学び合いの可視化。SDGs 沖縄21世紀ビジョン
- ・ 教育現場、企業、地域団体とのパートナーシップによるSDGs推進。SDGs パートナースhip





沖縄県内 SDG s 教育 どうやる？② 大事なものはパートナーシップ

・「取り残されてしまっている若い世代」へのアプローチ。今まで救えなかったことが、SDG s が広がることで支援の輪を広げる。

SDG s 地域 教育

・若い世代を意思決定に加える。意見の徴収ではなく、計画段階の中から参画する。SDG s POST・SDG s 世代の参画

・大きな施策作りを男性中心で行ってきた社会の仕組みを変える。「取り残される人」も「取り残される人に関わる人」も最前線に女性が多い現状として意思決定に女性の参画を増やす。

SDG s 女性の参画



SDGs2030

沖縄県内
どのように

体制づくり

- ・ SDGs、沖縄21世紀ビジョンの5つの将来像とのリンクが重要。2030年、世界的な視野の下、地域で活動する、理想的な社会づくりを目指す。
- ・ 推進体制、パートナーシップを活用した拠点組織の形成。自治体・民間・教育・市民が情報の入手、提供が可能となり、「誰一人取り残されない」仕組みづくり、「持続可能な社会」形成のための人員体制が可能な拠点の形成。
- ・ 体制を、県内のネットワークに終始しない。海外を含む、SDGs2030 沖縄応援団や世界のウチナーンチュネットワークの体制への参画。

沖縄県内 広げよう

広げるキャンペーン

- ・ SDG s 推進のための広げるキャンペーンを全県的に進める。
認知度調査等、パブリックコメントの導入
- ・ 新しい概念ではなく、今までやっていた沖縄ならではのSDG s 取り組みを可視化し、情報共有の仕組みづくり。
先進事例を共有する
- ・ 広報体制、一方的な情報提供ではなく、相互方向性を重視したキャンペーンの展開。
市民、特に若い世代の疑問に各専門家が答える
コール&レスポンス体制を充実させる

